

24年度_前期_TSD_インテリアデザイン_2年_デジタルプレゼンテーション I_松本尚久.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
デザイン業務で最重要となるプレゼンテーションに必要な技術の習得。	実務で制作したパースや他授業で製作したパース、図面など	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。PhotoshopによるCGパースのレタッチ技術やスタディ方法とIllustratorを用いたプレゼンボードの作成。	【専門知識スキル】:Photoshop、Illustratorをインテリアデザイナーとして実務レベルで使用できる知識及び学習方法の習得。【社会人基礎力】:課題発見力、計画力、創造力(作品を改善するために何をすればよいかについて、分析ができる完成イメージを明確にして、その実現のために現段階ですべきことを的確に把握できる他者の意見を積極的に求め、課題を明らかにしようとしている)	【受講ルール等】:資料配布は授業当日とする。課題の提出は当期限内を原則とする。【評価の観点】:どの程度理解しているか。課題に対して主体的に作業できているか。【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:完成課題を提出40%、平常点(受講態度)20%出席数40%。欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。課題提出方法はデータもしくはA3版でプリント

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	オリエンテーション	1. 科目の狙い、2. 到達レベル、3. 講義計画等の説明_現段階のレベルチェック	プレゼンテーションの重要性の理解		【持参品】各自PC		
2	Photoshop_基本操作の確認	パース加工の基本	パース加工の基本的理解。	主体性、働きかけ力	【持参品】各自PC【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	Photoshop_技術習得1	切り抜き・合成・変形・不透明度・レイヤーマスク	課題写真から人物などの切り抜き・合成・変形・あおり補正方法・レイヤーマスクの習得。	//	//	課題1	
4	Photoshop_技術習得2	四間道模型写真加工・レイヤーマスク	模型写真を用いて写真加工の習得。	//	//	課題2	
5	Photoshop_技術習得3	テクスチャ合成・レイヤーマスク①	テクスチャ合成の習得。	//	//	課題3	
6	Photoshop_技術習得4	テクスチャ合成・レイヤーマスク②	テクスチャ合成の習得。	//	//	課題4	
7	Photoshop_技術習得5	実践と応用①	習得技術を応用し実際のCGパースを用いてレタッチ方法の習得。	主体性、働きかけ力、創造性、課題発見力	//	課題5	
8	Photoshop_技術習得6	実践と応用②	習得技術を応用し実際のCGパースを用いてレタッチ方法の習得。	//	//	課題6	
9	Photoshop_技術習得7	実践と応用③	断面パース・内観パースのレタッチ方法の習得	主体性、働きかけ力	//	課題7	

10	Photoshop_技術習得8	実践と応用④	住宅の外観パースのレタッチ方法の習得	//	//	課題8	
11	インテリアデザインコンペ1	入賞作品の調査	以前の入賞作品の調査。	//	//		
12	インテリアデザインコンペ2	レイアウト	アートボードの理解。写真・パース・図面のレイアウト方法・フォント・クリッピングマスクの理解と習得。	//	//		
13	インテリアデザインコンペ3	レイアウト・パース加工	習得技術を元に作品の製作	主体性、働きかけ力、創造性、課題発見力	//		
14	インテリアデザインコンペ4	レイアウト・パース加工	習得技術を元に作品の製作	//	//		
15	インテリアデザインコンペ5	レイアウト・パース加工	習得技術を元に作品の製作	//	//		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	ある集合住宅のリノベーション課題に取り組む。課題を通して考え方から表現方法までインテリアの設計とプレゼンテーションに必要な知識を学ぶ。	適宜授業内にて配布	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験の教員が担当。インテリア設計の課題を細かく段階を区切って様々なテーマについて学ぶ。	主体的に考える習慣を身につける。感じたことを言語化する習慣を身につける。考えたことを様々な手法(スケッチ、模型、製図、CG等)によって表現できるようになる。	【受講ルール等】:全ての演習が繋がっているため、遅刻や無断欠席をしないこと。【評価の観点】:デザインのプロセスに重点を置いた授業であるため、成果物よりもきちんと考えて取り組む事ができたかということを重視し評価する。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	歴史:コンテキスト	建築やデザインの歴史について学ぶ。	インテリアデザインを学ぶための入口となる知識を身につける	前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力	スケッチブック、筆記用具、パソコン、Photoshop、Illustrator等	リサーチまとめ提出	
2	図面:スケール	スケールについて学び、製図に取り組む	設計の基本である寸法について意識を高める	〃	〃	リサーチと製図	
3	住居:コンセプト	住居について学び、設計する住居のコンセプトを考える	手を動かしながら考えること	〃	〃	リサーチと製図の提出	
4	設計の進め方:スケッチ	どのようにスケッチを進めるかを学ぶ	空間をイメージして手を動かす	〃	〃	コンセプト提出	
5	図面:様々な図面表現	図面による表現について学ぶ	図面による表現力	〃	〃	スケッチ提出	
6	パース	パースの描き方の基本を学ぶ	パースによる表現力	〃	〃	図面提出	
7	ブラッシュアップ	案をブラッシュアップする	ブラッシュアップする力	〃	〃	パース提出	
8	素材:マテリアル	インテリアの素材について学ぶ	具体的に空間をイメージする力	〃	〃	スケッチ提出	
9	製図	図面を完成させる	図面による表現力	〃	〃	スケッチ提出	
10	模型	模型表現について学び制作する	模型による表現力	〃	スケッチブック、筆記用具、Photoshop、Illustrator、模型材料、模型道具	図面提出	
11	模型	〃	〃	〃	〃		

12	プレゼンテーション	設計意図を伝える方法について考える。 プレゼンテーションの準備	伝える力	〃	〃	〃	〃	模型提出	
13	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
14	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
15	発表:プレゼンテーション	考えを伝える。プレゼンテーション。	伝える力。聴く力。	〃	〃	〃	〃	プレゼンテーション 提出	

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	機能が形態をつくるという事にとどまると建物は建築にならない。間取りをつくっただけでは美しい室内にはならない。建築の美しさや景観との調和は建築の機能ではなく外観や色彩や素材感である。基礎造形を学び、建築デザインの基本を習得する事をねらいとしている。	特にない。	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。3課題程度からデザインコンセプト模型を作成する事により基礎造形を学ぶ。各個人が設定した内容から導いた作品をプレゼンテーションする。	【専門知識スキル】:課題を読み解き、空間や造形で模型を表現する事ができる。 【社会人基礎力】:主体性、課題発見力、想像力、柔軟性。	【受講ルール等】指定日時に指定場所へ指定された方法で提出する。【評価の観点】1.授業への取り組み姿勢 2.課題作品の完成度3.プレゼンテーション能力【評価項目(評価の方法)】1.平常点(受講姿勢など)2.課題評価(コンセプト・提案力・表現力)3.出席率(但し必要出席率80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	基礎造形概論、建築概論説明、課題説明、課題1製作(相手を思いやる)	造形手法を知る。先人の建築を見て知識、見識を深める。スタディ模型を製作する。	加算法、減算法を学ぶと共に建築の美しさを知る。	想像力	A3用紙(用紙にある程度固さがある事)、はさみ、カッター、カッターマット、定規、のりなど模型製作に必要な材料	スタディ模型検討	
2	課題1製作	スタディ模型を製作する。(講評前半)	広域な検討を試みる。	主体性、課題発見力	〃	スタディ模型提出3案以上	
3	課題1製作	スタディ模型を製作する。(講評後半)ブラッシュアップした模型を製作する。	スタディ模型を元に改善点を検討する。	主体性、課題発見力	〃	スタディ模型提出	
4	作品発表、講評会	各自作品発表を行い、講評会を行う。	プレゼンテーション能力を高め、他者の作品批評を傾聴し不足箇所を充当する。	発信力、傾聴力、柔軟性	〃	完成模型提出	
5	課題2製作(周辺環境を読み解く)	スタディ模型を製作する。(講評前半)	広域な検討を試みる。	主体性、課題発見力	〃	スタディ模型提出3案以上	
6	課題2製作	スタディ模型を製作する。(講評後半)	広域な検討を試みる。	主体性、課題発見力	〃	スタディ模型提出	
7	課題2製作	ブラッシュアップした模型を製作する。	スタディ模型を元に改善点を検討する。	主体性、課題発見力	〃	スタディ模型提出	
8	作品発表、講評会	各自作品発表を行い、講評会を行う。	プレゼンテーション能力を高め、他者の作品批評を傾聴し不足箇所を充当する。	発信力、傾聴力、柔軟性	〃	完成模型提出	
9	住宅史概論、住宅課題製作(スタディ模型)	住宅史について理解する。先人の建築を見て知識、見識を深める。コンセプトを検討する。	広域な検討を試みる。	主体性、課題発見力	〃		
10	住宅課題製作(スタディ模型)	スタディ模型チェック(講評前半)	広域な検討を試みる。	主体性、課題発見力	〃	スタディ模型提出	
11	住宅課題製作(スタディ模型)	スタディ模型チェック(講評後半)	広域な検討を試みる。	主体性、課題発見力	〃	スタディ模型提出	

12	住宅課題製作(スタディ模型2)	ブラッシュアップ模型チェック(前半)	細部についての検討をする。	主体性、課題発見力	//	スタディ模型提出	
13	住宅課題製作(スタディ模型2)	ブラッシュアップ模型チェック(後半)	細部についての検討をする。	主体性、課題発見力	//	スタディ模型提出	
14	住宅課題製作(スタディ模型2)	ブラッシュアップ模型チェック(後半)	細部についての検討をする。	主体性、課題発見力	//	スタディ模型提出	
15	作品発表、講評会	各自作品発表を行い、講評会を行う。	プレゼンテーション能力を高め、他者の作品批評を傾聴し不足箇所を充当する。	発信力、傾聴力、柔軟性	//	完成模型提出	

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
インテリアに携わる者として実務において必要となるVectorworksのソフトによってCADの操作や図面のレイヤー管理を学ぶ。まず、線の引き方、線の消し方、レイヤーの意味の理解を導入し、平面図の図面を描くなど基本の操作方法を習得することを目的とする。	建築製図基本の基本	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。Vectorworks、Photoshop、Illustratorなど今後の講義において必須となるソフトウェアについての基礎を学ぶ	【専門知識スキル】Vectorworks…図面作成能力全般の習得。平面図・立面図・断面図を描けるようになる。自分の興味のある図面を立体的にとらえることができるようにする。	【受講ルール等】進行状況を鑑みて必要であれば適宜資料プリントを配布する。【評価の観点】平常点(授業受講姿勢など)・課題評価(図面の完成度、レイアウトの完成度)・出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない)【その他】:4~5人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	■科目の狙い■到達レベル■講義計画の説明■Vectorworks設定■スケールを知ろう!	Vectorworksのインストールおよびコンベックスを使って生活空間のスケールを学ぶ	Vectorworksの基本ツールを習得し、生活空間の数値を理解する	■考え抜く力=計画力■前に踏み出すちから=実行力	【授業運営方法】ノートパソコンにより、CADの基礎を学ぶ【持参物】筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン、コンベックス		
2	■Vectorworks基礎	Vectorworks操作技能認定試験 学習用教材:1.2D作図基礎編、建築製図基本の基本:平面図のCAD化	Vectorworksの基本ツールを習得。習得した手順による図面の作成。製図課題の理解力の向上	〃	【授業運営方法】ノートパソコンにより、CADの基礎を学ぶ【持参物】教科書:建築製図基本の基本、筆記用具、USBメモリ、ノートパソコン		
3	■Vectorworks基礎	建築製図基本の基本:平面図のCAD化	〃	〃	〃		
4	■Vectorworks基礎	〃	〃	〃	〃	【宿題02】平面図	
5	■Vectorworks基礎	建築製図基本の基本:断面図のCAD化	〃	〃	〃		
6	■Vectorworks基礎	建築製図基本の基本:立面図のCAD化	〃	〃	〃	【宿題03】立面図、断面図	
7	□産学連携授業:ナゼロ株式会社「デザイナーズチェア調査研究」	病院や高齢者の家具を手掛ける家具のデザインを行うナゼロ株式会社のショールーム見学	産学連携授業を通して、デザイナーズチェアの知識を深める	■考え抜く力=計画力■前に踏み出すちから=実行力■チームで働く力=規律性	【授業運営方法】産学連携授業:ショールーム見学【持参物】筆記用具、スケッチブック等		
8	〃	資料作成	〃	〃	【授業運営方法】産学連携授業:発表準備【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック等		
9	◆四間道の小さなカフェ	平面図のCAD化	自身がデザインした平面プランをCADで表現する力を身に付ける	〃	〃		

10	〃	〃	〃	〃	〃	四間道のカフェ 平面図を印刷し たもの	
11	〃	立面図のCAD化	制作した模型をもとにCADで表現する力を身に付ける	〃	〃		
12	〃	〃	〃	〃	〃	四間道のカフェ 立面図を印刷し たもの	
13	〃	平面図のブラッシュアップ	講師の添削のもと、図面を訂正する力を身に付ける	〃	〃		
14	〃	〃	〃	〃	〃	四間道のカフェ 平面図ブラッ シュアップ済、未 提出課題	
15	<input type="checkbox"/> 産学連携授業:ナゼロ株式会社 「デザイナーズチェア調査研究」	資料提出及び発表	産学連携授業を通して、デザイナーズチェアの知識を深める	■考え抜く力＝計画力 ■前に踏み出すちから＝実行力 ■チームで働く力＝規律性	【授業運営方法】産学連携授業:発表【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック等	調査研究資料	

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	建築・設計を学ぶための入門編。図面の模写を通して道具の使い方のおさらい、線の描き方、縮尺など製図の基本ルールを身に付ける。また、図面から立体的な空間を把握する基礎能力を養うことを目的とする。	建築製図 基本の基本(学芸出版社)	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。1.インテリア 建築における製図における平面図、断面図、立面図の描き方を学ぶ。2.住宅の基本図面を描く順序と意味を学ぶ。後半からはインテリアデザインコンペを行う。	【専門知識スキル】:1. 住宅における基礎的な図面表現ができるようになる。2. 建築図面の基本的な見方が理解出来るようになる 【社会人基礎力】: ■前に踏み出す力=主体性 ■考え抜く力=計画力 ■チームで働く力=傾聴力	【受講ルール等】:状況を鑑みて必要であれば適宜資料プリントを配布する 【評価の観点】:・平常点(授業受講姿勢など)・課題評価(図面の完成度、レイアウトの完成度)・出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない) 【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】: 欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。		
実施	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) ■ 平面図	・図面とは何かを伝える。道具の使い方、図面の種類を理解し、平面図を模写する	平面図の意味と描き方を理解し、描く力を身につける縮尺で図面を描く力を身につける	■前に踏み出す力=主体性 ■考え抜く力=計画力 ■チームで働く力=傾聴力	【授業運営方法】:(学生持参物)製図板、シャープペン、消しゴム、勾配定規、教科書、A3ケント紙、トレーシングペーパー、三角スケール、マスキングテープ		
2	■平面図	平面図の演習	〃	〃	〃	平面図	
3	■断面図	断面図の演習	断面図の意味と描き方を理解し、描く力を身につける	〃	〃	断面図	
4	■立面図	立面図の演習	立面図の意味と描き方を理解し、描く力を身につける	〃	〃	立面図	
5	他授業フォロー						
6	■矩計図 1/3	矩計図の意味	矩計図を描きながら意味を知る	〃	〃		
7	■矩計図 2/3	矩計図の演習	矩計図の意味と描き方を理解し、描く力を身につける	〃	〃		
8	■矩計図 3/3	矩計図の演習	矩計図の意味と描き方を理解し、描く力を身につける	〃	〃	矩計図 未提出課題	
9	インテリアコンペ	テーマ・コンセプトについて考察する。チーム分け、申込書記入	テーマについて繰り返し考えることを身に付ける	〃	【授業運営方法】:(学生持参物)筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック		
10	インテリアコンペ	コンセプト・プランニング	発想を図面化することを習得する チームでプロジェクトを遂行する経験をする	〃	〃		

11	インテリアコンペ	プランニング	//	//	//	ラフプラン	
12	インテリアコンペ	プランニング、図面、パース	//	//	//		
13	インテリアコンペ	プレゼンボードレイアウト、図面、パース インテリアファブリック手配	他者に伝えるために必要なものを確認し、準備するチームでプロジェクトを遂行する経験をする	//	//	レイアウト案	
14	インテリアコンペ	プレゼンボードレイアウト、コンセプト文	//	//	//		
15	インテリアコンペ	プレゼンテーション	期限を守り完成させるチームでプロジェクトを遂行する経験をする	//	//	プレゼンボード	

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	CADソフト(Vectorworks)によって出来たデータをCGソフト(SketchUp)による立体制作ソフトへとデータを移行して、正確な立体表現をする制作方法を学び、3次元の立体空間を自由に表現できることを習得する。またTwinmotionによるリアルタイムレンダリングを学びリアリティのある絵作りを習得する。	進行状況を鑑みて必要であれば適宜資料プリントを配布する。	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。Sketchupを用いた住宅規模の3Dデータ作成手法からTwinmotionを用いたリアルな絵作りまでを学ぶ。	【専門知識スキル】:Sketchup…自在に住宅規模の入力が可能な技術の習得 Twinmotion…短時間でのリアルな絵作りが可能な技術の習得 【社会人基礎力】:1. 考え抜く力(想像力) 2. 前に踏み出す力(主体性)	【受講ルール等】:進行状況を鑑みて必要であれば適宜資料プリントを配付する。【評価の観点】:1. 表現の正確性2. 作成にかかる時間(短いことが望ましい)3. 各種ソフトウェアの利用状況(必要に応じて適宜利用できているかどうか、使用方法に間違いがないか)4. レイアウト(美的センス、わかりやすくとどめる能力)【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	Sketchup、Twinmotion基礎:練習課題「家具のモデリング2点」	Sketchup及びTwinmotionの基本操作を学び作業の工程を一式理解する	Sketchup、Twinmotionの基本操作を習得	主体性、想像力	【授業運営方法】:実習 【持参物】:USBメモリ又はハードディスク、ノートパソコン		モデリング・レンダリング
2	空間モデリング:「パルセロナパビリオン」	矩形の形状のみで構成された名作建築を題材として、基本的なモデリングの手順を修得する	モデリング・レンダリングの基本操作を習得する。	〃	〃		〃
3	形状モデリングスタディ:小課題1「矩形」	様々な形の空間を9個作成、短時間で形を作り上げる	短時間で形をまとめる能力を習得	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
4	形状モデリングスタディ:小課題1「矩形」ブラッシュアップ	一つの作品を選択しブラッシュアップ	自主的に追い込んで細部まで作り上げる決断力を磨く	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
5	課題1空間モデリング:「都市公園」	矩形の形状のみで構成された都市公園を題材として、基本的なモデリングの手順を修得する。第2講 地盤面のデザイン 第3講 壁・屋根 第4講 付随する店舗 第5-6講 作例をカスタマイズしオリジナルな空間へ	モデリング・レンダリングの基本操作を習得する。	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
6	〃	〃	〃	〃	〃		〃
7	形状モデリングスタディ:小課題2「多角形」	様々な形の空間を9個作成、短時間で形を作り上げる	短時間で形をまとめる能力を習得	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
8	形状モデリングスタディ:小課題2「多角形」ブラッシュアップ	一つの作品を選択しブラッシュアップ	自主的に追い込んで細部まで作り上げる決断力を磨く	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃

9	課題2空間モデリング2:「自然に囲まれた少住宅」	平屋の住宅にて住宅モデリングの基礎を修得する。第8講 ガレージ 第9講 壁・屋根 第10-11講 内装 第12-13講 作例をカスタマイズしオリジナルな空間へ	住宅の建築空間のモデリング及びインテリア空間のモデリング双方の基礎を習得する。	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
10	〃	〃	〃	〃	〃		〃
11	形状モデリングスタディ:小課題3「曲面」	様々な形の空間を9個作成、短時間で形を作り上げる	短時間で形をまとめる能力を習得	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
12	形状モデリングスタディ:小課題3「曲面」ブラッシュアップ	一つの作品を選択しブラッシュアップ	自主的に追い込んで細部まで作り上げる決断力を磨く	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
13	課題3空間モデリング3:「フィッシャー邸のモデリング」	より実践的なモデリングの習得をフィッシャー邸を題材に学ぶ	リアルな空間を作るための細部のモデリングを習得	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃
14	〃	〃	〃	〃	〃		〃
15	最終提出、講評	今季製作した課題についてまとめて講評を行う	さらなるレベルアップのためのヒントを習得	〃	〃	A3カラー横レイアウトPDF	〃

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
インテリアの基礎知識を学びながら、パース(透視図法)の考え方や描く際に必要となる基本的な知識とテクニックを習得し、室内空間を自由に表現できるまでを目指す。	テキスト『スケッチパース(インテリア編)』	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。インテリアの基礎知識を学びながら、透視図法の描き方をテキストにそって繰り返しスケッチ演習を重ね習得する。	【専門知識スキル】インテリアの基礎知識及び図学としての透視図法の知識と作図法を学び、実務に対応できる技術を習得。【社会人基礎力】詳細は各講の「ターゲット社会人基礎力参照」。	【受講ルール等】指定日時に指定場所へ指定された方法で提出。【評価の観点】1. 授業への取り組み姿勢2. 課題作品の完成度【評価項目(評価の方法)】1. 平常点(授業受講姿勢など)2. 課題評価(技術力・表現力)3. 出席率(但し必要出席率80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位不認定とする)		
テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 (2)パース(透視図法)について	授業内容の説明。パース(透視図法)について→インテリア小物を描く。	授業内容とその目的を理解する。パース(透視図法)について知る。		【授業運営方法】テキスト『スケッチパース(インテリア編)』に沿って進める。【持参物】テキスト、筆記用具、鉛筆、消しゴム、クロッキー帳、色鉛筆、定規類一式、A3ケント紙		
スケッチパース演習『基礎編』基本図形の描き方とパースの知識を知る。	インテリア小物を描く。	視図法の活用によるスケッチを描く。色鉛筆でテクスチャーを表現する。	実行力(目的を設定し確実に行動する力)	【授業運営方法】レクチャ及びスケッチ演習。テキスト、資料を参考に実際に描きながら進める。【持参物】テキスト、筆記用具、鉛筆、消しゴム、クロッキー帳、色鉛筆、定規類一式、A3ケント紙	演習スケッチ①提出。	
〃	インテリア家具(小型)を描く。	〃	〃	〃	演習スケッチ②提出。	
〃	インテリア家具を描く(大型)を描く	〃	〃	〃		
〃	〃	〃	〃	〃	演習スケッチ③提出。	
スケッチパース演習『実践編』いろいろな作例を実際に描きパースの仕組みを知る。	小スペースを描く(バスルーム、ベランダ等)	〃	〃	〃		
〃	〃	〃	〃	〃	演習スケッチ④提出。	
〃	住宅室内(リビング等)を描く	〃	〃	〃		
〃	〃	〃	〃	〃		
〃	〃	〃	〃	〃	演習スケッチ⑤提出。	

サンプルの建築をベースに透視図法で描く	サンプルの理解。魅力的で公正が分かりやすい構図を決める。	〃	〃	【授業運営方法】レクチャ及びスケッチ演習。テキスト、資料を参考に実際に描きながら進める。【持参物】テキスト、筆記用具、鉛筆、消しゴム、クロッキー帳、色鉛筆、定規類一式、A3ケント紙	A3ケント紙
〃	住宅室内(リビング等)を描く	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	〃	〃	
〃	講評会	人前で発表することで、人に伝えることの効果を確認する。	発信力(自分のアイデアやねらいをわかりやすく伝える力)、傾聴力(相手の意見を丁寧に聴く力)	【授業運営方法】伝える側と聴く側の両方を経験する。【持参物】筆記用具	演習スケッチ⑥提出。

23年度_後期_TSD_インテリアデザイン_2年_デジタルプレゼンテーションⅡ_松本尚久.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
デザイン業務で最重要となるプレゼンテーションに必要な技術の習得。プレゼンボードの作成の全工程を習得する。就活に向けたポートフォリオ作成。	実務で制作したパースや他授業で制作したパース、図面など	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。PhotoshopによるCGパースのレタッチ技術やスタディ方法とIllustratorを用いたプレゼンボードの作成及びポートフォリオ作成。	【専門知識スキル】:Photoshop、Illustratorをインテリアデザイナーとして実務レベルで使用できる知識及び学習方法の習得。【社会人基礎力】:課題発見力、計画力、創造力(作品を改善するために何をすればよいか)について、分析ができる完成イメージを明確にして、その実現のために現段階ですべきことを的確に把握できる他者の意見を積極的に求め、課題を明らかにしようとしている)	【受講ルール等】:資料配布は授業当日とする。課題の提出は当期限内を原則とする。【評価の観点】:・どの程度理解しているか。課題に対して主体的に作業できているか。【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:完成課題を提出40%、平常点(受講態度)20%出席数40%。欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。課題提出方法はGoogle Driveにてデータ提出

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】1+前期コンペのメインパース:フィードバック	設計及びプレゼンボード製作(Photoshop・Illustrator)+前期コンペのメインパース:フィードバック	個人でのコンペ参加で結果を残す能力の習得	主体性、働きかけ力	【授業運営方法】授業初めに全体に対して説明し、学生の理解度に応じて個別に指導。【持参品】各自PC		
2	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】2	設計及びプレゼンボード製作(Photoshop・Illustrator)	〃	〃	〃		
3	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】3	〃	〃	〃	〃		
4	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】4	〃	〃	〃	〃		
5	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】5	〃	〃	〃	〃		
6	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】6	〃	〃	〃	〃		
7	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】7	〃	〃	〃	〃		
8	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】8	〃	〃	〃	〃		
9	JTOCSコンペ【第21回主張するみせ学生コンペ】9	ハレペネ作業	〃	〃	〃	課題1	

10	前期の復習および主張するみせの ベース:フィードバック	パースレタッチ	調整レイヤー・レイヤーマスク・描画 モードのさらなる理解	//	//	課題2	
11	フィッシャー邸レタッチ1	//	//	//	//	課題3	
12	他授業のフォロー+ポートフォリオ1	他授業のフォロー+ポートフォリオ調 査/作成(フォーマット作成)	習得技術を元に作品のクオリティアッ プ	//	//		
13	他授業のフォロー+ポートフォリオ2	//	//	//	//		
14	他授業のフォロー+ポートフォリオ3	//	//	//	//		
15	他授業のフォロー+ポートフォリオ4	//	//	//	//		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
【岩崎】住空間のデザインに取り組む。仮想クライアントの要望を受け、業界や環境を調査し、広義におけるデザインの提案を行う。【フィールド考察】実在する、とある地域のフィールド考察を行い、その地域に潜在的に存在する課題、求めているものを読み解く。ソフトとハードの両面から空間デザインの提案、プレゼンテーションを地域住民に向けたものと想定し発表を行う。実社会に向けた提案を行うことで、デザインの社会的意義、職能を学ぶ。【田淵】産学連携授業では実際に存在する飲食店を別店舗化したする想定で企業様へ提案、プレゼンテーションする。魅力のある空間を具体化できるように取り組む。	【岩崎】適宜プリント配布【田淵】プリント配布、一部資料はGoogleドライブ内に格納	【岩崎】《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。仮想クライアントを意識することで、よりよいインテリアコーディネート提案する。【フィールド考察】空間デザインは物理的な箱の他、多くの条件を読み解き、ハード、ソフト両面から提案していくものである。実際に存在するフィールド、クライアントを意識し、空間の設計及び提案を行う事を目的とする。前半は現代社会調査と家具デザインを通して基礎知識を学習する。後半は各種考察を行い《場所と用途》の調査研究、提案の骨子となるコンセプトを導き出し、具体的な空間を《ハードとソフト》の両面から設計及び提案を行い発表。全体を通して実社会における住空間デザインの意義、職能を学ぶ。【田淵】《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。産学連携授業「株式会社ヨシックスホールディングス」にご協力を頂き、実際にある店舗を別店舗化する想定で飲食店の設計及び提案を行う。	【専門知識スキル】【フィールド考察】1. 《場所》の持つ魅力や問題点を掘り起こすことができるようになる。2. 実社会に対して提案を行うことで、ハード・ソフト両面から広義としてのデザイン力を習得する。3. 専門家でない一般の方を意識して提案を伝える力を習得する。【社会人基礎力】:1. 考え抜く力(課題発見力、創造力) 2. 前に踏み出す力(主体性) 3. チームで働く力(発見力、傾聴力、柔軟性、規律性) 実在するフィールド、クライアントを意識することで、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】【フィールド考察】フェーズごとに資料プリントを配布する。課題は中間時にレポート提出、前半課題はA3版データ提出、後半課題はA2版ハリバネ提出とする。【評価の観点】:創作した作品(表現、独創性、スケール感、発想力、明快なコンセプト等) 1. 提案までのプロセス 考え方の明快さ。 2. プレゼンテーション(説明のわかりやすさ、工夫、積極性) 【その他】:調査研究課題も適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	【田淵01】9/21産学連携授業 全体スケジュール、チーム決め、役割分担決め、現状の店舗の説明、平面図の落とし込み	飲食店のインテリアコーディネートの提案を行う為、現状店舗の説明及び現状図の図面解説を行う。	授業の目的を理解し、事前準備を行う事で計画力を身に付ける。	1. 考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力) 2. 前に踏み出す力(主体性、実行力) 3. チームで働く力(傾聴力、柔軟性、ストレスコントロール力)	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック		
2	【岩崎01】9/27自己紹介、講義計画書の説明、課題1、課題2の説明	本課題の製作に向けた、調査の方法や、資料の収集方法、作図方法、プレゼン資料の構成について説明を行い、その方法に当りをつける。	〃	〃	〃		
3	【田淵02】9/28産学連携授業 プラン制作1	現地調査を基に各種図面の整合性確認及び新プランの作成	授業の目的を理解し、現地の調査を行う事で観察力を身に付ける。	〃	〃		
4	【岩崎02】10/4椅子デザインの調査、研究	知り得た情報をまとめる力を身に付け、考察する力を習得する。	授業の目的を理解し、事前調査・研究を行う事で計画力を身に付ける。レポート資料を作成することで、プレゼン表現を身に付ける。	〃	〃		
5	【田淵03】10/5産学連携授業 プラン制作2	現地調査を基に各種図面の整合性確認及び新プランの作成	図面の理解を深め、プランニング力を身に付ける。	〃	〃		
6	【岩崎03】10/11椅子デザインの調査、研究レポート提出、デザインコンセプト立案、デザイン図案作成	設計対象用途と現代社会の関係性について調査、考察し、企画デザインを行う基本情報を収集する。現代の加工技術を使った合板椅子のデザインを企画する。	調査・研究を元にプログラムを立案。ディスカッションしながら、提案を強化できる力を身に付ける。	〃	〃	課題1:レポート提出	
7	【岩崎04】10/18デザイン図作成	導き出したコンセプトを自己整理する。それを元に、ハード・ソフトの両面から合板椅子を設計する。	エスキスを通してまとめる力、具現化する力を身に付ける。ハード・ソフトの両面から設計し、提案力を強化する。	〃	〃		

8	【田淵04】10/19産学連携授業 中間プレゼンテーション資料作成1	現地調査を基に各種図面の整合性確認及び新プランの作成	図面の理解を深め、プランニング力を身に付ける。	〃	〃		
9	【岩崎05】10/25図面、プレゼン資料作成	設計した合板椅子を図面化する。情報を整理し、プレゼンテーション資料を作成する。	基礎的製図手法の習得 表現方法学び、描く力をつける。プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	〃	〃		
10	【田淵05】10/26産学連携授業 中間プレゼンテーション資料作成2	中間プレゼンテーションに向けて資料作成を行う。	図面の理解を深め、プランニング力を身に付ける。	〃	〃		
11	【岩崎06】11/1課題1・プレゼンテーション、講評、課題2の説明	プレゼンテーションを通して意見交換を行う。成果物を総評。	プレゼンテーション 自分の考えを相手に伝える力をつける。	〃	〃		
12	【田淵06】11/2産学連携授業 中間プレゼンテーション	《チームワーク》企業に講評を頂き、プレゼンテーションを行う。意見交換を行い、ブラッシュアップする。	プロに向け、イメージした空間、コンセプトをレイアウトし、まとめ、伝えることが出来る。	〃	〃	スライド資料	
13	【岩崎07】11/8都市と住宅の研究、計画地・周辺環境の調査	本課題の製作に向けた、調査の方法や、資料の収集方法、作図方法、プレゼン資料の構成について説明を行い、その方法に当りをつける。	授業の目的を理解し、事前調査・研究を行う事で計画力を身に付ける。レポート資料を作成することで、プレゼン表現を身に付ける。	〃	〃	課題1:プレゼンボード提出	
14	【田淵07】11/9産学連携授業 スライドデータレイアウト、パース1	新店舗化提案のための資料作成、平面図、展開図、立面図、パース他の作成	プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	〃	〃		
15	【岩崎08】11/15都市と住宅の研究、計画地・周辺環境の調査レポート提出、デザインコンセプト立案、デザイン図案作成	設計対象用途と現代社会の関係性について調査、考察し、企画デザインを行う基本情報を収集する。現代都市における小住宅のデザインを企画する	調査・研究を元にプログラムを立案。ディスカッションしながら、提案を強化できる力を身に付ける。	〃	〃	課題2:レポート提出	
16	【田淵08】11/16産学連携授業 スライドデータレイアウト、パース2	新店舗化提案のための資料作成、平面図、展開図、立面図、パース他の作成	プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	〃	〃		
17	【岩崎09】11/22デザイン図作成	設計した小住宅を図面化する。	基礎的製図手法の習得 表現方法学び、描く力をつける。	〃	〃		
18	【岩崎10】11/29図面、資料作成	〃	〃	〃	〃		
19	【田淵09】11/30産学連携授業 スライドデータレイアウト、パース3	新店舗化提案のための資料作成、平面図、展開図、立面図、パース他の作成	プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	〃	〃		
20	【田淵10】12/14産学連携授業 最終プレゼンテーション	《チームワーク》企業に講評を頂き、プレゼンテーションを行う。意見交換を行い、ブラッシュアップする。	プロに向け、イメージした空間、コンセプトをレイアウトし、まとめ、伝えることが出来る。	〃	〃	スライド資料の出力	
21	【岩崎11】12/20図面、資料作成	設計した小住宅を図面化する。	基礎的製図手法の習得 表現方法学び、描く力をつける。	〃	〃		

22	【田淵11】12/21図面、資料作成	〃	〃	〃	〃		
23	【岩崎12】1/10プレゼン資料まとめ	情報を整理し、プレゼンテーション資料を作成する。	プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	〃	〃		
24	【田淵12】1/11プレゼン資料まとめ	〃	〃	〃	〃		
25	【岩崎13】1/17プレゼン資料まとめ	〃	〃	〃	〃		
26	【田淵13】1/18プレゼン資料まとめ	〃	〃	〃	〃		
27	【岩崎14】1/24プレゼン資料のブラッシュアップ	〃	〃	〃	〃		
28	【田淵14】1/25プレゼン資料のブラッシュアップ	〃	〃	〃	〃		
29	【岩崎15】1/31課題2・プレゼンテーション、講評	プレゼンテーションを通して意見交換を行う。成果物を総評。	プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	〃	〃	課題2:プレゼンボード提出	
30	【田淵15】2/1他授業のフォローアップ	他授業のフォローアップ	習得技術を元に作品のクオリティアップ	〃	〃		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	各種3DCADの習熟度向上により、より多彩な形状を生み出せるよう、造形能力を向上させる。	進行状況を鑑みて必要であれば適宜動画資料を配布する。	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当各種3DCADを用いた詳細なインテリアCGのモデリング、曲面など多様な形状の作成方法を学ぶ。	【専門知識スキル】3DCAD全般…複雑な形状の作成方法を学ぶ【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力) 2. 前に踏み出す力(主体性)	【受講ルール等】進行状況を鑑みて必要であれば適宜動画資料を配付する。【評価の観点】1. 表現の正確性2. 作成にかかる時間(短いことが望ましい)3. 各種ソフトウェアの利用状況(必要に応じて適宜利用できているかどうか、使用方法に間違いがないか)4. レイアウト(美的センス、わかりやすくまとめる能力)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	LUMION基礎	LUMIONについて基礎的な操作を学び、Twinmotionとの差を学ぶ。	LUMIONとTwinmotionとの差を学び、ライセンスを申請する。	主体性、想像力	【授業運営方法】:実習【持参物】:前期の授業にて制作したSketchupの全課題データ持参。		レンダリング
2	課題1「フィッシャー邸のレンダリング」	LUMIONで夏の課題をブラッシュアップする。	LUMIONの基本操作をどこまで理解できているのか確認。	〃	夏の課題のフィッシャー邸のデータを講評。またそのモデリングデータを活用して課題に挑む。	授業前にプレゼンボードPDF提出A3カラー1枚	レンダリング
3	曲面モデリング基礎	Moi3Dのインストール基本機能の習得家具を2点制作	Moi3dでのモデリングに慣れスケッチアップとの違いを理解する。	〃	特になし	プレゼンボードPDF提出A3カラー1枚	モデリング
4	課題2「家具のモデリング」	習得したMoi3dで椅子をモデリングする。	名作椅子を各パーツひとつひとつ再現し曲面のモデリングに慣れる。	〃	〃		モデリング
5	〃	習得したMoi3dで椅子をモデリングする。	名作椅子を各パーツひとつひとつ再現し曲面のモデリングに慣れる。	〃	〃		レンダリング
6	課題3「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ:flow」	作成する空間を選定miroを活用しリファレンスシートを作成	作る前に情報をあつめまた手でスケッチして考えることを促す	〃	筆記用具。ノート。画材類。	プレゼンボードPDF提出A3カラー1枚	リファレンスシート
7	〃	具体的に形を一件モデリングしていく曲面を使った空間デザインへの苦手意識をなくす。	デザインの選択肢から曲面を除いて考えないよう曲面を作ることに慣れる。	〃	〃	リファレンスシートモデリングデータ	モデリング
8	課題4「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ:wave」	作成する空間を選定miroを活用しリファレンスシートを作成	作る前に情報をあつめまた手でスケッチして考えることを促す	〃	筆記用具。ノート。画材類。	プレゼンボードPDF提出A3カラー1枚	リファレンスシート
9	〃	具体的に形を一件モデリングしていく曲面を使った空間デザインへの苦手意識をなくす。	デザインの選択肢から曲面を除いて考えないよう曲面を作ることに慣れる。	〃	〃	リファレンスシートモデリングデータ	モデリング

10	課題5「曲面を活用した空間モデリング1 テーマ:bubble」	作成する空間を選定 miroを活用しリファレンスシートを作成	作る前に情報をあつめ また手でスケッチして考えることを促す	〃	筆記用具。ノート。画材類。	プレゼンボード PDF提出 A3カラー1枚	リファレンスシート
11	〃	具体的に形を一件モデリングしていく 曲面を使った空間デザインへの 苦手意識をなくす。	デザインの選択肢から 曲面を除いて考えないよう 曲面を作ることに慣れる。	〃	〃	レファレンスシート モデリングデータ	モデリング
12	課題3-5のブラッシュアップ	これまでの課題のブラッシュアップ。	これまでの課題のブラッシュアップ。	〃	〃	プレゼンボード PDF提出 A3カラー1枚	レンダリング
13	課題6「作家研究」	研究するデザイナーを選定 miroを活用しリファレンスシートを作成	作る前に情報をあつめ また手でスケッチして考えることを促す	〃	筆記用具。ノート。画材類。		形態分析
14	〃	具体的に2-3作品モデリングし、 細かな部分を分析してみる。	その作家のどこが好きなのか 自覚するために形を作り 分析しより深くデザインを知る。	〃	〃		モデリング
15	最終講評 講義:最新の形の作り方について	最終講評 その後プログラミングやAIによるデザインの生成など最新の事例を	今後各自が習得すべき技術を垣間 見せる。	〃	〃	プレゼンボード PDF提出 A3カラー1枚	プログラミング AI

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	店舗の設計・デザインの作業を実際に行うことで、お店を設計する上で必要なスキルを学ぶ	プリント配布、一部資料はGoogleドライブ内に格納	<<実務経験のある教員による授業科目>>建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。15週の決められた期限の中で、自分の納得のいく作品を完成させる事	【専門知識スキル】【社会人基礎力】: 主体性、働きかけ力、実行力。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:プリントにて資料配布はとする。課題の提出は自由にレイアウトしデータ提出とする。【評価の観点】:前向きな取り組み自分で納得のいく物ができたかという事を重視し評価する。【評価項目(評価の方法)】:平常点(受講姿勢)/課題評価/出席率但し必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出出来ない場合は単位を認めない。		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	講義計画等の説明、プランニング	テーマを読み解きコンセプトをたてる。提出期限を考えながら自主的、計画的に作業を進める	テーマを読み解く、考えを育てる、コンセプトをたてる。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、想像力、発信力、柔軟性	【授業運営方法】:アクティブラーニング【持参物】筆記用具、スケッチブック、ノートパソコン、その他各自必要な物		
2	プランニング	〃	コンセプトを大切にしながらスタディーを重ねる。	〃	〃		
3	〃	〃	〃	〃	〃		
4	エスキス(手書き)	〃	〃	〃	〃		
5	中間プレゼン資料作成	〃	自分の考えや作品の意図をどう伝えるかを考えプレゼンテーションの準備をする。	〃	〃		
6	〃	〃	〃	〃	〃		
7	中間プレゼンテーション/平面図(CAD)	〃	自信を持って自分の作品のプレゼンを頑張って発表する。	〃	〃		
8	ブラッシュアップ	〃	コンセプトを大切にしながらスタディーを重ねる。	〃	〃		
9	3Dパース作成	〃	〃	〃	〃		
10	〃	〃	〃	〃	〃		

11	〃	〃	〃	〃	〃		
12	〃	〃	〃	〃	〃		
13	最終プレゼンテーション資料作成	〃	自分の考えや作品の意図をどう伝えるかを考えプレゼンテーションの準備をする。	〃	〃		
14	〃	〃	〃	〃	〃		
15	最終プレゼンテーション	〃	長い時間をかけて取り組んだ自分の作品を大切に自信を持ってプレゼンを、とにかく頑張る発表する。	〃	〃		

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	建築・インテリア設計の基盤となる平面図、断面図、立面図、配置図などの描き方を理解した上で、着色技法を身につけ、デザインする意味と表現方法を習得する。	プリント配布	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。基礎的なアナログ技術をしっかりと身につける必要があります。フィッシャー邸の着色技法を学習します。	【専門知識スキル】着色技法の基礎を理解し、習得する。【社会人基礎力】1.前に踏み出す力(主体性)2. 考え抜く力(課題発見力・創造力)3. チームで働く力(発信力・傾聴力・柔軟性)	【受講ルール等】どれほど秀作であれ期日に間に合わなければ評価しない。【評価の観点】創作した作品(表現、独創性、スケール感、明快さ等) 1 提案までのプロセス 考え方の明快さ。 2 プレゼンテーション(説明のわかりやすさ、工夫、積極性)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	1. 科目のねらい、到達レベル、講義計画等の説明2. プレゼン資料の事例説明	授業内容の説明。施工事例を解説し、見やすく分かりやすい表現技法を学ぶ	授業の内容と目的を理解する。よりよい表現方法を身につける。	1.前に踏み出す力(主体性)2. 考え抜く力(課題発見力・創造力)	【授業運営方法】施工事例を交えてプレゼン方法を学ぶ【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)	宿題1	
2	色鉛筆による質感表現、フィッシャー邸平面図の手描きトレース	色鉛筆による自然素材の質感表を練習します。	デジタルだけでなくアナログの表現方法学び、よりよい表現方法を身につける	〃	【授業運営方法】過去作成した作品の平面図のトレースを行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題2	
3	フィッシャー邸平面図の着色、フィッシャー邸立面断面のトレース	色鉛筆、コピックによる平面図の着色を練習します。	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品の平面図の着色を行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題3	
4	フィッシャー邸立面断面の着色、フィッシャー邸外観パースの手描きトレース	色鉛筆、コピックによる立面断面図の着色を練習します。	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品の外観パースのトレースを行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題4	
5	フィッシャー邸外観パースの着色	色鉛筆、コピックによるパースの着色及び点景について練習します。	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品の外観パースの着色を行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題5	
6	マンション、戸建の平面プランの着色	色鉛筆による実例の着色を練習します。	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品の内観パースのトレースを行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題6	
7	一点透視図、内観スケッチ1	一点透視による内観パース作成を学びます。ガイド用紙を使って内観スケッチ作成を学びます。	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品の外観パースの着色を行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題7	
8	内観スケッチ2	ガイド用紙を使って内観スケッチ作成を学びます。	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品のパースのトレースを行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題8	
9	内観パースの着色1	色鉛筆、コピックによる内観パース着色を練習します。	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品のパースの着色を行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題9	

10	内観パースの着彩2、過去の自分作品による手書きトレース	〃	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品のパースのトレースを行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題10	
11	過去の作品による着彩	過去の作品によるパースのアナログ技術の表現技法の魅力を理解する	〃	〃	【授業運営方法】過去作成した作品のパースの着彩を行う【持参物】筆記用具、スケッチブック、三角スケール、三角定規、マスキングテープ、トレーシングペーパー、ピグマ(水性ペン)、色鉛筆	宿題11	
12	フォローアップ	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー	よりよい表現方法を身に付ける	〃	【授業運営方法】他科目の課題の表現方法を講師がサポート【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
13	フォローアップ	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー	〃	〃	【授業運営方法】他科目の課題の表現方法を講師がサポート【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
14	フォローアップ	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー	〃	〃	【授業運営方法】他科目の課題の表現方法を講師がサポート【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
15	講評会	制作物の発表	人前で発表することで、人に伝えることの効果を確認する。	3.チームで働く力(発信力・傾聴力・柔軟性)	【授業運営方法】伝える側と聴く側の両方を経験する。【持参物】筆記用具	未提出課題一式	

23年度_後期_TSD_インテリアデザイン_2年_プレゼンテーションスキル_鳥居信貴.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	建築提案の際に使用される建築模型の製作に伴う基礎授業を行う。活用方法を含めた模型の可能性について理解し、適切に製作、運用できるようにする。	特にない。	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。模型を活用したプレゼンテーションの効果への理解を深め、実際に模型製作を行い、講評を受ける。	【専門知識スキル】:表現スキルの向上を図り、デジタルとアナログの使い分けにおいて、強度を持った発信力を身につける。【社会人基礎力】:傾聴性、規律性、主体性、実行力、課題発見力、計画力、創造力、働きかけ力、状況把握力。	【受講ルール等】指定日時に指定場所へ指定された方法で提出する。【評価の観点】1.授業への取り組み姿勢2.課題作品の完成度3.できないことでも前向きに取り組む姿勢【評価項目(評価の方法)】1.平常点(受講姿勢など)2.課題評価(丁寧さ・表現力)3.出席率(但し必要出席率80%を満たない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。)		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	【授業の説明及びレクチャー】教員及び学生の自己紹介、授業内容説明、建築模型の使い方	本授業の狙いの説明。模型の活用方法の説明	デジタル表現とアナログ表現の使い方の違いに対する理解を深める。	傾聴力、規律性	【授業運営方法】講義 【持参物】筆記用具		
2	(パーツ図を書く)内容説明及び仕上げ検討及び作図	課題についての説明を受け、どのように作図するか検討を行い、実際に作図する。	模型をつくる基礎の理解を深め、自主性を持って計画、製作に取り組む。	傾聴力、主体性、実行力、計画力	【授業運営方法】:実習 【持参物】:パソコン		
3	(パーツ図を書く)作図	前回から引き続き作図を行う	〃	主体性、実行力、計画力	〃		
4	(パーツを切る)内容説明及び製作	課題についての説明を受け、どのように製作するか検討を行い、実際に製作する。	〃	傾聴力、主体性、実行力、計画力	【授業運営方法】:実習 【持参物】:筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン		
5	(パーツを切る)製作	前回から引き続き作図を行う	〃	主体性、実行力、計画力	〃		
6	(パーツを彩る+貼る)内容説明及び製作	課題についての説明を受け、どのように製作するか検討を行い、実際に製作する。	〃	傾聴力、主体性、実行力、計画力	【授業運営方法】:実習 【持参物】:筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料		
7	(パーツを彩る+貼る)製作	前回から引き続き作図を行う	〃	主体性、実行力、計画力	〃		
8	(階段・家具・人・外構)内容説明及び政策	課題についての説明を受け、どのように製作するか検討を行い、実際に製作する。	〃	傾聴力、主体性、実行力、計画力	【授業運営方法】:実習 【持参物】:筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料		
9	〃	前回から引き続き作図を行う	〃	主体性、実行力、計画力	〃		
10	〃	〃	〃	傾聴力、主体性、実行力、計画力	〃		
11	外部講師による模型写真レクチャー	建築カメラマンによる模型写真の撮り方についてのレクチャーを開き、こちらで用意する模型写真をスマホで撮影する。	建築模型の活用を最大限行う方法を学び、実践する。	傾聴力、規律性	【授業運営方法】:実習 【持参物】:筆記用具、スマホ、製作模型	【提出】レクチャーを受けての感想文、模型写真	

12	(製図Ⅱ)計画模型製作	製図Ⅱの自らの課題模型を1/50にて製作する。作り方は本授業内容を応用し、反映させること。	自ら設計したものに対して、パーツ図及び各技術を応用しながら模型製作に取り組む。	主体性、実行力、計画力	【授業運営方法】:実習 【持参物】:筆記用具、カッターナイフ、カッターマット、スチレンボード、のり、定規、パソコン、仕上に必要な材料、自分が使いたい材料		
13	〃	〃	〃	〃	〃		
14	〃	〃	〃	〃	〃		
15	〃			〃	〃		

24年度_前期_TSD_総合デザイン_2年_業界研究Ⅱ.xlsx

	科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
	自己分析を行い、自分のやりたい事や強み弱みを知る。各求人サイトへ登録し、情報を収集する。希望業界の企業を調べ、インターンシップに参加する。履歴書の書き方や面接のポイントを知る。 本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。	キャリアガイドブック 参考資料	≪実務経験のある教員による授業科目≫デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。	【専門知識スキル】:卒業後の進路について業界と職種を自分自身で調べ、就職活動のスタートを切ること出来る。自己を知り、企業にアピールが出来る。【社会人基礎力】:社会人として講義マナーを身につける。文章力、自己PR力を養う。	【受講ルール等】:1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業で必要があれば学生へ返却 【評価の観点】:1、必要出席率(80%)を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認(認定)であること 【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施 【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)、課題評価、出席率。ただし出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。 内容は変更になることがあります		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物等	授業外学習・宿題・提出課題等	重要用語・キーワード(任意)
1	【合同】キャリアパート(冒頭約20分)/キャリアセンターツアー/就職活動スタートアップ講座/終了後各クラス個別進路希望調査	キャリアよりキャリアガイドブックの内容説明、キャリアセンター見学(オンライン)	自己の就職活動への理解力を深める、就職活動の方向性を考える	傾聴力、計画力	【授業運営方法】:講義、ワーク 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具	提出:担任独自の 新尾希望調査書	
2	PROG	PROGテストを行う	自己の適性を知る	主体性、実行力	【授業運営方法】:ワーク 【持参物】:筆記用具		
3	適性検査/業界職種の研究	適性検査を行う(約45分)ネットやキャリアセンターの資料を活用し、各コース就職・活躍できる職種を調べる	自己を知る、どんな職業があるかを知る	主体性、実行力	【授業運営方法】:講義 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC	提出:適性検査	
4	【合同】キャリアパートオンライン(冒頭約30分)/インターンシップ準備・情報/マナー講座/終了後各クラス対応	企業がインターンや応募に使っている求職サイトへ登録を実際にPCを使って行う マイナビ、リクナビ、その他 ※マイナビは就職ガイダンスでも行う。メールの書き方、電話のかけ方、必要な書類を知る。昨年の学校取りまとめインターンの紹介(教務)	各サイトの登録完了する。1DAY、中期インターンシップを探せる状態になる、企業とやり取りが出来るような基本的なマナーを身につける	主体性、傾聴力、働きかけ力	【授業運営方法】:講義 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC		
5	文章トレーニング	自分の事を文章に起こして、相手に魅力的に伝える	正しい文章を書ける	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:講義、ワーク 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC		
6	文章トレーニング、敬語の使い方	自分の事を文章に起こして、相手に魅力的に伝える、敬語の使い方を覚える	正しい敬語を使える	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:講義、ワーク 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC		
7	自己分析・他己分析 文章トレーニング	長所、短所を自己分析、他己分析を行う	自他の意見から自己の特長を理解できる	傾聴力、主体性	【授業運営方法】:講義、ワーク 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC		

8	履歴書の書き方1	企業に提出する履歴書の基礎と自分の長所を考える	自己の強みや特長、学生生活で得たことなどを文章にする	主体性、実行力	【授業運営方法】:講義、ワーク【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC		
9	履歴書の書き方2	授業内で行った業界研究から企業を選択し、提出する履歴書の基礎と自己アピールを書く練習をする	志望企業に沿った、動機を文章にする、インターンシップで面接に臨む場合は担任またはキャリアセンター個別対応を行う	主体性、実行力	【授業運営方法】:講義、ワーク【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC	提出:履歴書	
10	履歴書の書き方3	担任履歴書添削から改善点の把握。学校取りまおめ応募の提出履歴書作成	履歴書のポイントを把握	主体性、実行力	【授業運営方法】:講義、ワーク【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC	提出:履歴書	
11	【合同】キャリアパートオンライン(冒頭約30分)/オンライン模擬面接(予定)/終了後各クラス対応	オンライン面接の受け方を知る	オンライン面接のポイントを把握	傾聴力、実行力	【授業運営方法】:講義、ワーク【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC		
12	面接練習	クラス内で面接練習実施	改善ポイントを知る	主体性、働きかけ力	【授業運営方法】:講義、ワーク【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC		
13	各クラス個別対応	各クラス個別対応					
14	各クラス個別対応	各クラス個別対応					
15	各クラス個別対応	各クラス個別対応					